

めあて 3けたの数かける筆算のしかたを考えよう。

p18 **1** ^{ひっさん} 345×187の筆算のしかたを考えましょう。

自		3	4	5
	×	1	8	7

かくにん 確認		3	4	5
	×	1	8	7
	2	4	1	5
2	7	6	0	
3	4	5		
6	4	5	1	5

3年生の時の学習を
思い出そう！
3けた×2けたは
できるね！



2 ^{ひっさん} ^{けいさん} 279×403の筆算の計算をしました。2人の筆算のしかたをくらべて、ちがうところを^か書きましょう。



ゆあさん

		2	7	9
	×	4	0	3
		8	3	7
		0	0	0
		1	1	6
		1	1	2
		1	1	2
		1	1	2

		2	7	9
	×	4	0	3
		8	3	7
		1	1	6
		1	1	2
		1	1	2
		1	1	2



たいがさん

◎ちがうところ

(例) ゆあさんは、十の位の0も計算している。

たいがさんは、十の位の0をはぶいて計算している。

1 ^{つぎ} ^{けいさん} ^{さんすう} 次の計算を算数ノートに^{ひっさん}筆算でしましょう。(日づけとページも書こう。)

① 365×139=50735 ② 252×328=82656 ③ 426×145=61770

④ 287×302=86674 ⑤ 604×103=62212 ⑥ 730×205=149650

3 ^{みぎ}右のような計算をかんたんにするには、

どのように^{けいさん}計算すればよいですか。

1 あゆむさんは下のように^{かんが}考えました。□に^{かず}数を入れましょう。

2800は 28の ^{ばい}倍。320は 32の ^{ばい}倍。
 2800×320の^{こた}答えは、28×32の ^{ばい}倍。
 2800×320=

$$\begin{array}{r} 2800 \\ \times 320 \\ \hline 0000 \\ 5600 \\ 8400 \\ \hline 896000 \end{array}$$



りこさん

あゆむさんの^{かんが}考えを ^{ひっさん}筆算で しました。

$$\begin{array}{r} 2800 \\ \times 320 \\ \hline \end{array} \quad \rightarrow \quad \begin{array}{r} 2800 \\ \times 320 \\ \hline 56 \\ 84 \\ \hline 896000 \end{array}$$

終わりに 0が あるかけ算は、
0が ないものとして ^{けいさん}計算して、
あとから、はぶいた^{すう}数だけの
0を つけたらいいんだね。



2 ゆうとさんは 2560×180の^{けいさん}計算を
^{みぎ}右のようにしました。

どのように^{けいさん}計算したか ^{せつめい}説明しましょう。

2560は 256の ^{ばい}倍。180は18の ^{ばい}倍。
 2560×180の^{こた}答えは、256×18の ^{ばい}倍。
 なので、256×18の^{けいさん}計算を して、0を こつけました。

$$\begin{array}{r} 2560 \\ \times 180 \\ \hline 2048 \\ 256 \\ \hline 460800 \end{array}$$

㊦ 3けた×3けたの^{ひっさん}筆算のしかたも、2けたの^{かず}数をかける^{ひっさん}筆算と(同じ)方法でできます。

(0)をはぶいて^{けいさん}計算するなどくふうすることでかんたん^{けいさん}に計算することができます。

㊦ 次の^{つぎ}計算を^{けいさん}算数ノートに^{ひっさん}筆算でしましょう。(日づけとページも書こう。)

- ① 2100×140=294000 ② 1300×230=299000 ③ 830×2500=2075000